

## 家計に関するアンケート

### ご記入に当たってのご説明とお願い

- ・この調査は、世帯の家計と貯蓄の動向を調べることを目的に、日本全国で無作為に選んだ世帯を対象に行っております。
- ・世帯主の方（家計費に充てる収入が最も多い方）または実際に家計をきりもりする方（配偶者の方など）がご回答ください。
- ・家計の調査が目的ですので、事業のための預貯金、負債などは除外してご回答ください。
- ・黒の鉛筆かボールペンでご記入ください。
- ・お答えは、あてはまる回答の番号を でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。
- ・質問文の最後に（ は1つ）とあるものは、お答えを1つにしぼってください。（ はいいくつでも）とあるものは2つ以上に がついていても構いません。
- ・質問項目が多く、記入時間も長くなりますが、全部の質問項目にお答え頂きますようご協力をお願い致します。
- ・調査結果は数値化し、コンピューターで集計を行いますので、世帯や個人のプライバシーが他に漏れることはありません。例えば、税金などの関係に使用されることは絶対にありませんので、ありのままご記入ください。
- ・日本郵政公社から郵便貯金及び簡易生命保険のご案内に伺ったり、ダイレクトメールを送付させていただいたりすることはありません。
- ・ご不明の点がありましたら、お伺いした調査員、または下記までご連絡頂きますようお願い致します。

〔回収日時〕

ご回答いただきました調査票は、 月 日に私 がいただきに伺います。  
それまでにご記入くださいますようお願いいたします。

< 本調査に関するお問い合わせ先（調査実施の委託を受けています） >

平成 18 年 10 月

< 調査実施 >

社団法人 新 情 報 セ ン タ ー（担当：小川、今井）

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1 - 13 - 6 恵比寿 I S ビル

電話 0120(78)5231

（受付時間：月～金（祝日除く）午前9時～午後5時）

ホームページ <http://www.sjc.or.jp/>

< 調査企画 >

日本郵政公社郵政総合研究所

〒105-8798 東京都港区虎ノ門1-26-5 虎ノ門17 森ビル9階

ホームページ <http://www.japanpost.jp/research/index.html>

4358

地点番号	対象番号	調査員名	点検者名

**まず、貯蓄の目的についておたずねします。**

問1 あなたの世帯では、現在、下の表に示したそれぞれの目的ごとの貯蓄がありますか。また、今後はそれぞれの目的ごとの貯蓄を増やしますか、減らしますか。  
 (現在、各目的の貯蓄がある場合には「1」に を、無い場合には「2」に をつけてください。また、「今後の意向」では、「有り・無し」にかかわらず、1~3のいずれか1つに をつけてください。)

なお、本調査でいう「世帯」とは、住居及び生計を共にしている者の集まりをいいます。単身赴任など3か月以上別居している方は世帯員から除きます。

	貯蓄の目的 (n=3,127)	有	無	今後の意向		
a	病気、災害、その他不時の出費に備えて	77.3	22.1	58.4増やしたい	0.9減らしたい	35.0今のままでよい
b	子供の教育費として	29.7	66.3	27.4増やしたい	2.4減らしたい	53.4今のままでよい
c	結婚資金(子供の結婚資金を含む)として	20.7	75.6	28.4増やしたい	1.0減らしたい	55.2今のままでよい
d	マイホームまたは土地の取得、増改築などに備えて	27.3	69.7	36.2増やしたい	0.8減らしたい	49.6今のままでよい
e	老後の生活に備えて	68.2	31.0	67.5増やしたい	0.2減らしたい	26.1今のままでよい
f	要介護状態(寝たきりなど)になったときの出費に備えて	50.5	48.1	61.5増やしたい	0.2減らしたい	29.6今のままでよい
g	耐久消費財(自動車、家具、家電など)の購入に向けて	30.7	66.4	37.5増やしたい	1.6減らしたい	49.3今のままでよい
h	旅行やスポーツなどのレジャーに向けて	32.6	64.4	36.4増やしたい	1.0減らしたい	51.6今のままでよい
i	遺産として残すため	12.8	83.8	18.8増やしたい	1.4減らしたい	66.2今のままでよい
j	特に目的はないが貯蓄をしていれば安心だから	51.6	45.1	49.1増やしたい	0.3減らしたい	40.4今のままでよい
k	その他	9.8	68.7	19.8増やしたい	0.4減らしたい	49.1今のままでよい

**問1でひとつでも「1 有」に をつけた世帯におたずねします。**

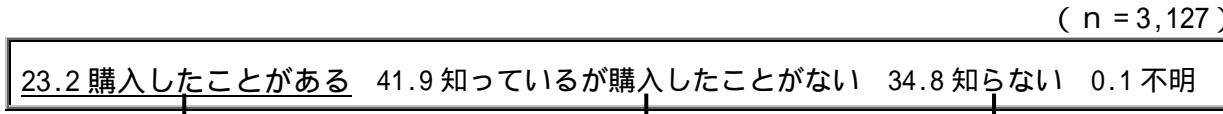
問2 問1で「1 有」としたもののの中から、あなたの世帯で、特に重要とお考えの貯蓄目的の上位3つを選んでお答えください。( は3つまで) (n=3,127)

67.5 病気、災害、その他不時の出費に備えて	36.3 要介護状態(寝たきりなど)になったときの出費に備えて
22.5 子供の教育費として	8.1 耐久消費財(自動車、家具、家電など)の購入に向けて
5.7 結婚資金(子供の結婚資金を含む)として	8.7 旅行やスポーツなどのレジャーに向けて
11.5 マイホームまたは土地の取得、増改築などに備えて	1.2 遺産として残すため
58.2 老後の生活に備えて	18.8 特に目的はないが貯蓄をしていれば安心だから
	1.1 その他
	12.4 不明

**ここでは、投資信託について、すべての世帯におたずねします。**

問3 あなたの世帯では投資信託をご存じですか。また、購入したことがありますか。(は1つ)

投資信託とは  
 広く投資家から資金を集め、その資金を投資家に代わって各種国内外の株式や債券などの  
 有価証券に投資して、実績に応じてその運用益を投資家に還元する仕組みの金融商品です。  
 株式投資信託、公社債投資信託、MMF、中期国債ファンドなどがあります。



次頁問9へ

問4 投資信託を取り扱っている金融機関として、あなたがお存じの取り扱い機関は次のどれ  
 ですか。(はいいくつでも) (n = 2,036)

38.0 郵便局	12.5 生命保険会社、損害保険会社 (外資系保険会社も含む)
47.7 都市銀行	4.7 インターネット専門銀行
35.5 地方銀行、第二地方銀行	9.9 インターネット専門証券会社
43.3 信託銀行	32.7 投資信託会社
18.4 信用金庫、信用組合、労働金庫	0.2 その他 ( )
6.5 農協	4.4 知っている取り扱い金融機関はない
60.0 証券会社(外資系証券会社含む)	→ 次頁問9へお進みください
	0.3 不明

(問3で「1 購入したことがある」と回答された世帯におたずねします。問3で「2 知っている  
 が購入したことがない」を回答された方は次頁問9へお進みください。)

問5 投資信託を購入したきっかけとして、あてはまるものを選んでください。(はいいくつでも)  
 (n = 726)

58.8 証券会社・銀行・郵便局などの窓口で勧められて	
28.9 外務職員(営業担当者)に勧められて	
16.8 知人や職場の人に勧められて	
4.5 テレビやラジオのコマーシャルを見たり聞いたりして	
13.2 新聞・雑誌等の記事や広告を見て	
2.1 インターネットのホームページを見て	
3.0 投資信託に関する講演会などで話を聞いて	
3.4 確定拠出年金制度に加入したので	
1.8 税制上優遇されるので	
6.1 その他(具体的に )	0.3 不明

問6 投資信託を購入した理由として、あてはまるものを選んでください。(はいくつでも) (n = 726)

58.8 預貯金よりリターンを期待できそうだから	14.6 販売担当者や取扱金融機関が信頼できるから
31.7 株式より安全性が高いと思うから	3.0 購入できる金融機関等が増えたから
2.2 インターネットで購入できるから	6.3 換金が容易にできるから
17.9 元本より値上がりが期待できるから	5.8 友人・知人が投資しているから
16.8 窓口で勧められたから	1.5 手数料が安い金融機関で取引しているから
25.9 いろいろな資産を持つことで、資産全体のリスクを分散できるから	3.0 その他(具体的に)( )
	0.4 不明

問7 現在お持ちの投資信託を購入した取り扱い金融機関は次のどれですか。(はいくつでも) (n = 726)

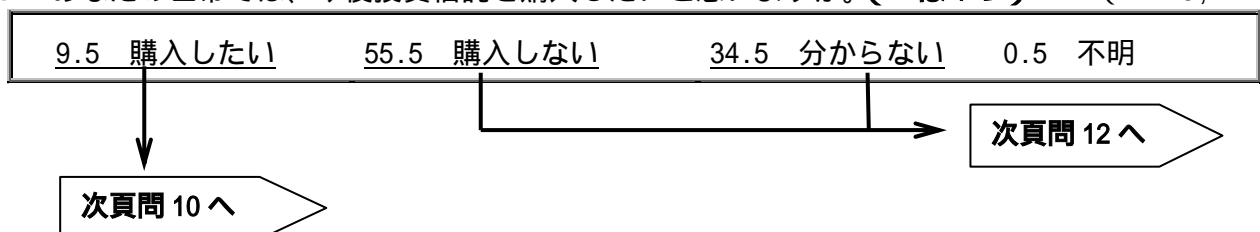
7.2 郵便局	3.9 生命保険会社、損害保険会社(外資系保険会社も含む)
19.1 都市銀行	0.7 インターネット専門銀行
19.8 地方銀行、第二地方銀行	2.3 インターネット専門証券会社
9.9 信託銀行	2.1 投資信託会社
5.2 信用金庫、信用組合、労働金庫	0.4 その他( )
0.1 農協	
38.4 証券会社(外資系証券会社含む)	15.7 現在は投資信託を持っていない
	2.5 不明

問8 現在保有している投資信託の種類は次のどれですか。(はいくつでも) (n = 726)

20.0 国内債券ファンド(公社債投信)	30.9 毎月分配タイプ(国内外の債券及び株式投信)
24.2 国内株式ファンド(株式投信)	3.6 R E I T (不動産投資信託)
16.9 国際株式ファンド(株式投信)	10.9 外貨建てMMF
7.3 インデックス型(株価指数連動・株式投信)	1.2 その他(具体的に)(転換社債ファンド、派生商品ファンド等)( )
12.5 バランス型(国内外の債券及び株式投信)	18.2 現在は投資信託を持っていない
	5.6 不明

(すべての世帯におたずねします。)

問9 あなたの世帯では、今後投資信託を購入したいと思いますか。(は1つ) (n = 3,127)



問 10 今後購入する場合、どの金融機関等で購入したいと思いますか。( は1つ)

( n = 297 )

17.2 郵便局	1.3 生命保険会社、損害保険会社 (外資系保険会社も含む)
18.2 都市銀行	1.0 インターネット専門銀行
14.8 地方銀行、第二地方銀行	3.7 インターネット専門証券会社
7.1 信託銀行	2.7 投資信託会社
2.0 信用金庫、信用組合、労働金庫	1.3 その他 ( )
- 農協	
29.6 証券会社(外資系証券会社も含む)	1.0 不明

問 11 今後、保有したい投資信託の種類は次のどれですか。( はいいくつでも)

( n = 297 )

20.2 国内債券ファンド(公社債投信)	43.8 毎月分配タイプ(国内外の債券及び株式投信)
27.3 国内株式ファンド(株式投信)	8.1 R E I T (不動産投資信託)
20.2 国際株式ファンド(株式投信)	11.8 外貨建て MMF
6.4 インデックス型 (株価指数連動・株式投信)	2.0 その他(具体的に) (転換社債ファンド、派生商品ファンド等) ( )
23.9 バランス型(国内外の債券及び株式投信)	0.7 不明

次頁問 13 へ

(問9で「2 購入しない」、「3 分からない」と回答した世帯におたずねします。)

問 12 「購入しない」あるいは「分からない」とお考えの理由として、あてはまるものを選んでください。( はいいくつでも)

( n = 2,815 )

30.1 元本が保証されないから(リスクが高いから)	
53.0 投資信託を購入するための余裕資金がないから	
31.9 投資信託の仕組みについて、よくわからないから	
14.6 多くの商品の中で何を選んだらよいのか分からないから	
4.8 購入する際の手数料が高いから	
4.1 以前投資信託を購入した際に損失を被ったから	
16.4 景気の先行きに期待できないから	
53.7 もともと興味がないから	
2.5 その他(具体的に)( )	0.6 不明

**ここでは、株式について、すべての世帯におたずねします。**

問 13 あなたの世帯では現在株式を保有していますか。( は1つ) ( n = 3,127)

20.0 保有して いる	10.3 過去保有していたが、 現在保有していない	69.5 現在も過去も 保有していない	0.2 不明
-----------------	------------------------------	------------------------	--------

問 14 今、あなた(世帯主)が株式を運用するとしたら、銀行等で預貯金をしたときと比べて、この先1年間に年率何%ぐらい多くの収益を得られると思いますか。 に数字でご記入ください。なお、株式運用にかかる取引手数料を収益から引いてお考えください。もし、銀行預金等の利子よりも収益が少ないと思われる場合は、マイナスを付けてご記入ください。

( n = 3,127)

平均 11.5 %ぐらい多く収益を得られると思う

問 15 価格変動が激しいことをリスクが大きいと言います。あなた(世帯主)は株価の変動の大きさについて、どのようにお考えですか。あてはまる番号に をつけてください。( は1つ)

( n = 3,127)

16.4 大変大きい	4.1 比較的小さい
26.6 比較的大きい	0.3 大変小さい
39.0 どちらとも言えない	4.4 その他(具体的に)( )
	9.2 不明

(問13で「1 保有している」と回答した世帯におたずねします。問13で「2 過去保有していたが、現在保有していない」「3 現在も過去も保有していない」と回答した方は次頁問17へお進みください)

問 16 株式を購入した理由として、あてはまるものを選んでください。( はいくつでも)

( n = 625)

53.4 預貯金よりリターンを期待でき そうだから	4.0 販売担当者や取扱金融機関が信頼 できるから
31.2 株主優待があるから	0.6 購入できる金融機関等が増えたから
12.6 インターネットで購入できるから	5.9 友人・知人が投資しているから
27.4 元本より値上がりが期待できるから	2.4 手数料が安い金融機関で取引している から
4.3 窓口で勧められたから	19.0 その他(具体的に)( )
25.4 いろいろな資産を持つことで、 資産全体のリスクを分散できるから	0.5 不明

(問13で「2 過去保有していたが現在保有していない」及び「現在も過去も保有していない」と回答した世帯におたずねします。)

問 17 「保有していない」理由として、あてはまるものを選んでください。(はいくつでも)  
(n = 2,495)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 30.7 元本が保証されないから (リスクが高いから)       |
| 6.0 取引手数料が高いから                    |
| 18.5 景気の先行きに期待できないから              |
| 2.2 取扱金融機関が近くになく、取引に不便だから         |
| 4.2 以前、株式を購入した際に損失を被ったから          |
| 24.6 素人が株式市場で儲けを出すことはできないと思うから    |
| 8.5 株式はギャンブルと同じだから道義的にすべきでないと思うから |
| 43.8 株式を購入するほどの資金がないから            |
| 3.5 販売担当者や取扱金融機関が信頼できないから         |
| 13.9 多くの商品の中で何を選んだらよいのか分からないから    |
| 29.2 今まで保有したことがなく、保有する必要性を感じないから  |
| 50.8 もともと興味がないから                  |
| 1.4 その他(具体的に )                    |
| 4.7 不明                            |

(すべての世帯におたずねします。)

問 18 あなたの世帯では、銀行や証券会社はあなたの世帯の金融資産を運用する機関として信頼できると思えますか。それぞれ現在のお考えに最も近いものを選んで番号に をつけてください。(それぞれ は1つ)

(n = 3,127)

	十分信頼できる	まあまあ信頼できる	どちらとも言えない	あまり信頼できない	まったく信頼できない	不明
(a) 銀行	8.0	40.9	36.1	11.4	2.8	0.8
(b) 証券会社	2.0	12.9	51.5	23.0	7.7	2.9

**ここでは、金融資産の保有状況について、すべての世帯におたずねします。**

問 19 あなたの世帯では、どのような種類の預貯金・金融商品（外貨建て金融商品を含む）によって貯蓄を行っていますか。各預貯金・金融商品をお持ちの場合は「1」に をつけ、おおよその保有額を に数字でご記入ください。お持ちでない場合は「2」に をつけてください。

預貯金・金融商品		保有 (n=3,127)	現在高	記入上のご注意
a 1	<b>預貯金&lt;普通預金&gt;</b> (郵便貯金は除く)	有 76.8 無 20.6 不明 2.7	(n = 2,401) 平均 241.4 万円	銀行、信用金庫・信用組合、農協などへの預貯金の額を「普通預金」、「定期性預金・定期積立」に分けてそれぞれお答えください。 <u>郵便局の商品は除きます。</u>
a 2	<b>預貯金&lt;定期性預金・定期積立&gt;</b> (郵便貯金は除く)	有 55.9 無 39.9 不明 4.3	(n = 1,747) 平均 457.7 万円	
b 1	<b>郵便貯金&lt;通常貯金&gt;</b>	有 55.4 無 39.8 不明 4.8	(n = 1,733) 平均 121.0 万円	郵便局への貯金の総額を「通常貯金」、「定期貯金・定額貯金」に分けてそれぞれお答えください。
b 2	<b>郵便貯金&lt;定期貯金・定額貯金&gt;</b>	有 42.9 無 51.9 不明 5.2	(n = 1,341) 平均 349.7 万円	
c	<b>生命保険</b> (定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含みません)	有 68.9 無 27.5 不明 3.6	(n = 2,155) 平均 545.6 万円	生命保険会社、郵便局、農協などの生命保険に今までに払い込んだ保険料の総額をお答えください。 <u>定期性保険・医療保険などの掛け捨て型は除きます。</u>
d	<b>個人年金</b> (公的年金の保険料は含みません)	有 33.6 無 61.6 不明 4.9	(n = 1,050) 平均 314.2 万円	生命保険会社、郵便局、農協などの年金商品に今までに払い込んだ掛け金の総額をお答えください。 <u>公的年金の保険料は含みません。</u>
e	<b>債券</b> (国債、金融債(ワイドを含む)、社債等。外国債も含みます。)	有 9.5 無 84.4 不明 6.2	(n = 296) 平均 386.4 万円	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)外国債は円換算してお答えください。
f	<b>株式</b> (従業員持株制度による株式や外国株式を含みます。)	有 18.3 無 76.0 不明 5.7	(n = 573) 平均 460.4 万円	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価格で結構です。外国株式は円換算してお答えください。)
g	<b>投資信託</b> (公社債投信、株式投信、MMF、中国ファンド、REIT等。)外国投資信託を含みます。	有 14.7 無 79.2 不明 6.1	(n = 460) 平均 399.6 万円	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)外国投資信託は円換算してお答えください。
h	<b>財形貯蓄、社内預金</b>	有 11.5 無 81.8 不明 6.6	(n = 361) 平均 208.9 万円	財形貯蓄・社内預金などの貯蓄額をお答えください。
i	<b>その他</b> (貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座等)	有 3.9 無 87.9 不明 8.2	(n = 123) 平均 308.5 万円	上記 a ~ h 以外の金融商品について合算してお答えください。
	<b>合計</b>	有 94.8 無 4.3 不明 1.0	(n = 2,963) 平均 1,335.0 万円	a ~ i までの合計額をご記入ください。

<b>別掲</b>	<b>外貨建て金融商品</b> (外貨預金、外国債券、外国投資信託等)	有 5.4 無 81.4 不明 13.2	(n = 170) 平均 479.8 万円	a ~ i の金融商品について、外貨建て金融商品の保有額をお答えください。記入時の為替相場で円換算してお答えください。
-----------	--	----------------------------	--------------------------	---

問 20 問 19 でお答えいただいた預貯金・金融商品および合計額の現在高は、1年前と比べて増加し



ましたか、減少しましたか。また、今後は、それらを増やしたいですか、減らしたいですか。預貯金・金融商品の種類ごとに該当する番号に「      」をつけ、お答えください。（      は1つ）

預貯金・金融商品		最近1年間の増減 (n=3,127)	今後の意向(問19で「2無」に <u>      </u> つけた方もお答えください。)(n=3,127)
a1	預貯金<普通預金> (郵便貯金は除く)	11.8 増えた 35.6 減った 43.3 変わらない 9.3 不明	60.8 増やしたい 1.0 減らしたい 28.8 今のまま 9.4 不明
a2	預貯金 <定期性預金・定期積立> (郵便貯金は除く)	9.9 増えた 20.6 減った 51.3 変わらない 18.3 不明	53.3 増やしたい 0.7 減らしたい 32.9 今のまま 13.1 不明
b1	郵便貯金 <通常貯金>	6.6 増えた 21.6 減った 53.0 変わらない 18.8 不明	43.9 増やしたい 0.5 減らしたい 41.6 今のまま 14.0 不明
b2	郵便貯金 <定期貯金・定額貯金>	5.4 増えた 13.8 減った 56.1 変わらない 24.7 不明	40.7 増やしたい 0.7 減らしたい 42.5 今のまま 16.0 不明
c	生命保険 (定期保険・医療保険などの 掛け捨て型の保険は含み ません)	12.2 増えた 8.8 減った 60.4 変わらない 18.6 不明	15.6 増やしたい 6.5 減らしたい 64.4 今のまま 13.5 不明
d	個人年金 (公的年金の保険料は含み ません)	5.5 増えた 3.7 減った 56.5 変わらない 34.3 不明	18.6 増やしたい 0.6 減らしたい 60.3 今のまま 20.5 不明
e	債券 (国債、金融債(ワイドを含 む)、社債等。外国債も含み ます。)	2.4 増えた 1.0 減った 53.7 変わらない 42.9 不明	6.7 増やしたい 0.3 減らしたい 68.6 今のまま 24.3 不明
f	株式 (従業員持株制度による株式 や外国株式を含みます。)	4.8 増えた 4.6 減った 51.1 変わらない 39.4 不明	11.4 増やしたい 0.9 減らしたい 65.7 今のまま 22.0 不明
g	投資信託 (公社債投信、株式投信、 MMF、中国ファンド、REIT等。 外国投資信託を含みます。)	5.3 増えた 1.6 減った 52.4 変わらない 40.8 不明	9.8 増やしたい 0.7 減らしたい 66.8 今のまま 22.8 不明
h	財形貯蓄、 社内預金	5.2 増えた 2.5 減った 49.3 変わらない 42.9 不明	11.1 増やしたい 0.1 減らしたい 64.3 今のまま 24.5 不明
i	外貨建て金融商品 (外貨預金、外国債券、外国 投資信託等)	1.4 増えた 0.9 減った 52.4 変わらない 45.3 不明	5.1 増やしたい 0.2 減らしたい 69.7 今のまま 24.9 不明
j	その他 (貸付信託、積立型損害保 険、金貯蓄口座等)	0.7 増えた 0.6 減った 53.4 変わらない 45.3 不明	4.1 増やしたい 0.2 減らしたい 69.8 今のまま 25.8 不明
	合計(総額)	16.8 増えた 26.5 減った 35.2 変わらない 21.5 不明	52.0 増やしたい 0.4 減らしたい 30.1 今のまま 17.6 不明

**ここでは、くらしの好みや満足度について、すべての世帯におたずねします。**

問 21 ここに「宝くじ」があるとします。この「宝くじ」は、当たった場合には2,000円がもらえますが、外れた場合には何ももらえません。当たりか外れかの確率は半々の確率となります。このくじが、200円で売っていた場合、あなた（世帯主）は、買いますか。（買うまたは買わないのどちらかに をつけ、該当する付問のあてはまるものを1つ選び、 をつけてください。）（ は1つ）  
（ n = 3,127 ）

50.4 買う		49.1 買わない		0.5 不明
↓		↓		
問 21-1 ( n = 1,577 ) 問 21 の宝くじがいくらまで高くなっても買いますか。ぎりぎりの値段を次の1から6の中からお選びください。（ は1つ）		問 21-2 ( n = 1,535 ) 問 21 の宝くじがいくらまで安くなれば買いますか。ぎりぎりの値段を次の1から6の中からお選びください。（ は1つ）		
50.7 300円までなら買う	12.2 400円までなら買う	8.9 600円までなら買う	18.1 1,000円までなら買う	6.0 2,000円までなら買う
3.6 2,000円以上でも買う	0.4 不明	1.0 190円になれば買う	0.6 150円になれば買う	23.6 100円になれば買う
		11.3 50円になれば買う	6.6 1円になれば買う	54.8 1円でも買わない
		2.0 不明		

問 22 あなた（世帯主）の仕事に対する報酬が以下の2つの方法で支払われるとした場合、あなた（世帯主）にとって望ましいのはどちらですか。ただし、仕事の内容は同じとします。あてはまるものを1つ選び、番号に をつけてください。仕事をされていない方は、あなたの世帯で1ヶ月にかかる生活費を月収としてお考えください。（ は1つ）

（ n = 3,127 ）

14.6 月収が、現在の2倍になるか、現在の30%減になるかが、毎月半々の確率の仕事		81.3 月収が、現在の5%増しに確定している仕事		4.2 不明
↓		↓		
問 22-1 ( n = 455 ) 次の2つの仕事のうち、あなたにとって望ましいのはどちらですか。あてはまるものを1つ選び、番号に をつけてください。（ は1つ）		問 22-2 ( n = 2,541 ) 次の2つの仕事のうち、あなたにとって望ましいのはどちらですか。あてはまるものを1つ選び、番号に をつけてください。（ は1つ）		
35.4 月収が、現在の2倍になるか現在の半分になるかが、毎月半々の確率の仕事	64.4 月収が、現在の5%増しに確定している仕事	11.5 月収が、現在の2倍になるか、現在の10%減になるかが、毎月半々の確率の仕事	88.3 月収が、現在の5%増しに確定している仕事	0.2 不明
	0.2 不明			0.2 不明

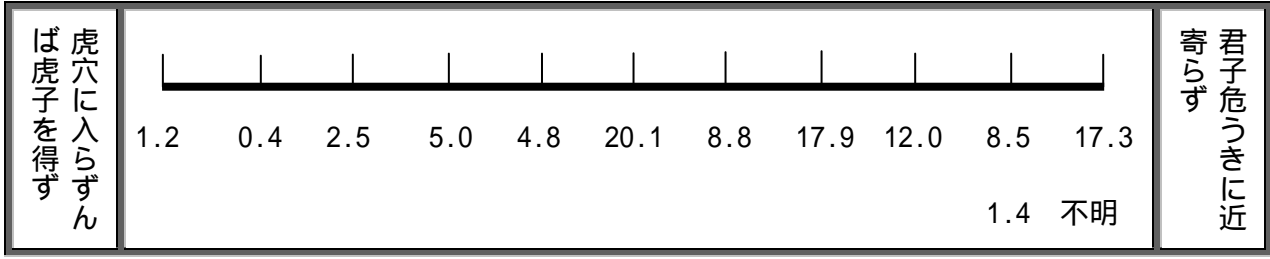
問 23 あなた（世帯主）が普段お出かけになる時に、傘を持って出かけるのは降水確率が何%以上だと思う時ですか。  に数字をお書きください。（いつも傘を持ち歩いている方は「0%」とお書きください。）  
（ n = 3,127 ）

平均 45.0 %以上

問 24 「虎穴に入らずんば虎子を得ず」ということわざがあるように、高い成果を期待するなら危

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0

険を冒すべきだという考え方があります。その一方で「君子危うきに近寄らず」ということわざのように、できるかぎり危険をさけるべきだという考え方もあります。あなた(世帯主)の行動は、どちらの考え方に近いですか。「虎穴～」の考え方に完全に共感する、を10点、「君子～」の考え方に完全に共感する、を0点として、あなた(世帯主)の行動パターンを評価してもらってもあてはまるものを1つ選び、番号に をつけてください。( は1つ)



問 25 1ヵ月後に1万円もらうか、それからさらに1年後の13ヵ月後にいくらもらうかのどちらかを選べるとします。1ヵ月後に1万円もらうこと(A)と、13ヵ月後に下記の表のa~hの行に指定した金額をもらうこと(B)を比較して、あなた(世帯主)が好むほうをお答えください。a~hそれぞれについて、Aなら1、Bなら2を で囲んでください。(それぞれ は1つ)  
(n=3,127)

選択肢A(円) (1ヶ月後受取)	選択肢B(円) (13ヵ月後受取)	金利 (年表示)	選択回答欄 (それぞれ は1つ)					
a 10,000	9,500	- 5%	84.5	A	4.3	B	11.2	不明
b 10,000	10,000	0%	81.2	A	6.8	B	12.0	不明
c 10,000	10,200	2%	62.1	A	25.3	B	12.6	不明
d 10,000	10,400	4%	57.0	A	30.2	B	12.8	不明
e 10,000	10,600	6%	50.8	A	36.5	B	12.8	不明
f 10,000	11,000	10%	33.2	A	54.3	B	12.5	不明
g 10,000	12,000	20%	25.1	A	62.3	B	12.6	不明
h 10,000	14,000	40%	19.9	A	69.5	B	10.6	不明

問 26 次の項目は、あなた(世帯主)にあてはまりますか。「ぴったりあてはまる」を1、「全く当てはまらない」を5として、あてはまる番号に をつけてください。( は1つ)(n=3,127)

	まる ぴ っ た り あ て は ま る	ど ち ら か と い う と、 あ て は ま る	ど ち ら か と い う ど ち ら か と い え ない	ど ち ら か と い う ど ち ら か と い え ない	ど ち ら か と い う ど ち ら か と い え ない	ど ち ら か と い う ど ち ら か と い え ない	全 く あ て は ま ら ない	不 明
(a) 結果が良いか悪いかははっきりわからない時は、たいてい、最善を予想する。	3.8	21.2	48.4	17.9	7.5	1.2		
(b) 自分は盗難にあわないと思う。	2.9	13.5	63.3	10.9	7.8	1.6		

ここでは、生命保険、医療保険および個人年金について、おたずねします。

**すべての世帯におたずねします。**

問 27 あなたの世帯では昨年1年間に、ご家族のどなたかが新たに生命保険に加入されましたか。加入された場合はその保険の種類もお答えください。(はいくつでも)

(n = 3,127)	(n = 629)		
20.1 加入した	16.4 養老保険	7.2 定期付き終身保険	11.4 年金保険
79.0 加入していない	25.9 終身保険	42.4 医療保険	3.2 その他
0.9 不明	5.2 定期保険	17.6 学資保険・子ども保険	1.1 不明

問 28 あなたの世帯では昨年1年間に、ご家族のどなたかが加入していた生命保険を解約・失効されましたか。解約・失効された場合はその保険の種類もお答えください。(はいくつでも)

(n = 3,127)	(n = 322)		
10.3 解約・失効した	18.6 養老保険	9.9 定期付き終身保険	8.1 年金保険
87.2 解約・失効していない	24.2 終身保険	23.6 医療保険	2.2 その他
2.5 不明	14.6 定期保険	11.5 学資保険・子ども保険	3.4 不明

問 29 あなたの世帯で加入されている生命保険、医療保険および個人年金について、それぞれお持ちの場合は「1」に をつけ、死亡保障金額、入院給付金額、および個人年金の年間受取(予定)金額を に数字でご記入ください。世帯員全員分、世帯主分に分けてお答えください。お持ちでない場合は、「2」に をつけてください。( に金額を数字でご記入ください)

個人年金とは、民間の生命保険会社や郵便局などで取り扱う任意加入の年金のことです。公的年金は含みません。

	保有 (n = 3,127)	全員の合計	うち世帯主の分
a) 生命保険の死亡保障金額 (掛け捨て型も含む)	有 76.6 無 17.6 不明 5.8	(n = 2,394) 平均 3051.8万円	(n = 2,394) 平均 1,872.3円
b) 医療保険の1日あたりの入院給付金額 (病気・ケガの場合)	有 72.0 無 21.1 不明 6.9	(n = 2,252) 平均 21.6千円	(n = 2,252) 平均 11.3千円
c) 個人年金の年間受取金額(予定を含む)	有 29.2 無 61.0 不明 9.8	(n = 912) 平均 149.9万円	(n = 912) 平均 128.0万円

**ここでは、あなたの世帯の借り入れの状況について、すべての世帯におたずねします。**

問 30 あなたの世帯では、現在表に示したそれぞれの目的または理由の借入金がありますか。借入金には、親戚など金融機関以外からの借り入れも含めて考えてください。

(各目的別の現在の借入金の有無について、1、2のいずれか1つにをつけてください。)

	目的または理由	現在の借り入れの有無 ( n = 3,127 )	
		ある	ない 不明
a	マイホームまたは土地の取得、増改築などのため	30.5 68.2 1.3	ある ない 不明
b	耐久消費財(自動車、家具、家電など)の購入資金のため	12.5 85.5 2.0	ある ない 不明
c	子供の教育費のため	5.1 92.7 2.1	ある ない 不明
d	結婚資金(子供の結婚資金を含む)として	0.7 97.2 2.1	ある ない 不明
e	旅行やスポーツなどのレジャーのため	1.3 96.5 2.2	ある ない 不明
f	病気、災害などのため	1.9 95.9 2.2	ある ない 不明
g	生活費のため	5.5 92.6 1.9	ある ない 不明
h	その他	4.8 88.6 6.6	ある ない 不明

**問30で、「1 現在借り入れがある」が1つ以上あった世帯におたずねします。**

問 31 問30で「現在借り入れがある」とした借入金の合計残高はいくらかお答えください。  
( に金額を数字でご記入ください) ( n = 1,318 )

現在の残高は

平均1,255.4

万円

**ここでは、老後の生活に対する考え方などについて、すべての世帯におたずねします。**

問 32 あなたの世帯では、世帯主の方は公的年金をすでに受け取っていらっしゃいますか。

( は1つ )

なお、本調査でいう「世帯主」とは、世帯員のうち、家計費に充てるための収入を最も多く得ている方をいいます。住民票等への登録と必ずしも合致しません。例えば、夫が単身赴任で妻が専業主婦の場合は、妻が「世帯主」で収入は夫からの仕送りであるとみなします。

( n = 3,127 )

60.7	まだ公的年金を受け取っていない	39.0	すでに公的年金を受け取っている	0.4	不明
------	-----------------	------	-----------------	-----	----

次頁の問 37 へ

問 33 あなたの世帯では、老後の生活費として、1か月にどのくらいの金額が必要だとお考えになりますか。

( n = 1,897 )

月額 約  万円

生活費には次のものを含みます。

食費、光熱費、住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教養娯楽・交際費

問 34 あなたの世帯では、老後の生活費を何によってまかなうおつもりですか。あなたがお考えのものすべてに をおつけください。また、その中から最も重要とお考えの収入はどれですか。  
( 該当するすべてに をつけ、その中で最も重要なものの番号を に数字でご記入ください。 )

( n = 1,897 ) ( )内は最も重要なもの

27.7( 7.3)	給与収入	41.2(12.7)	個人年金・企業年金	1.7(0.4)	土地・家屋などの不動産売却収入
8.8( 5.2)	事業収入	2.7( 0.7)	子供、親戚などからの援助(仕送り)	0.6(0.1)	リバースモーゲージ
4.7( 0.9)	不動産賃貸収入	38.1( 7.0)	貯蓄の取り崩し	8.1(6.5)	まだ先のことなのでわからない
3.5( 0.2)	利子・配当等での収入	29.2( 4.3)	退職一時金	0.6(0.3)	その他( )
68.8(44.4)	公的年金	17.1( 1.1)	満期保険金	0.7(9.0)	不明

リバースモーゲージとは、持ち家を担保として自治体や信託銀行等から融資を受け、融資額満了時(契約者の死亡時等)に持ち家を売却することにより融資額を一括返済するシステムを指します。

をつけたものの中で最も重要と考えるのは、  番。

問 35 あなたは、公的年金で老後の生活費の何割程度をまかなえるとお考えでしょうか。全部まかなえると思う方は「10」割とお答えください。なお、公的年金が生活費を上回るとお考えの場合は「10」以上の数字をご記入ください。(例えば、1か月の公的年金額が24万円で生活費が20万円の場合は、24/20となるので、「12」割程度と に数字をご記入ください。)( n = 1,897 )

公的年金で生活費の  程度をまかなえると思う。

問 36 あなたの世帯では、公的年金を受給前に、どのくらい貯蓄額が必要だとお考えになりますか。  
( n = 1,897 )

必要な貯蓄額は 平均 2,699.8 万円程度

下記の間 39 へ

**世帯主の方がすでに公的年金を受け取っている世帯におたずねします。**

問 37 あなたの世帯では生活費をどのような収入でまかなっていますか。また、その中で最も重要な収入は何ですか。(該当するすべてに **をつけ、その中で最も重要なものの番号を** に数字でご記入ください。)  
( n = 1,219 ) ( )内は最も重要なもの

23.9(10.9) 給与収入	26.2(5.2) 個人年金・企業年金	21.5(1.6) 貯蓄の取り崩し
11.3( 6.3) 事業収入		4.6(0.6) 退職一時金
8.7( 2.3) 不動産賃貸収入	3.3(0.7) 子供、親戚などからの援助(仕送り)	4.8(0.2) 満期保険金
4.8( 0.2) 利子・配当等での収入	1.5(0.9) 国や市町村等の公的機関からの援助	0.8(0.2) 土地・家屋などの不動産売却収入
100.0(67.8) 公的年金		1.6(0.3) その他( )
		-(2.7) 不明

をつけたものの中で最も重要なものは、 番。

問 38 あなたは、公的年金で現在の生活費のどの程度の割合をまかなっていますか。全部まかなえている場合は「10」割とお答えください。また、公的年金が生活費を上回っている場合は「10」以上の数字をご記入ください。(例えば、1か月の公的年金の受領額が24万円で生活費が20万円の場合は、24/20となるので、「12」割程度とに数字をご記入ください。)( n = 1,219 )

公的年金で生活費の 平均 8.4 割程度をまかなっている。

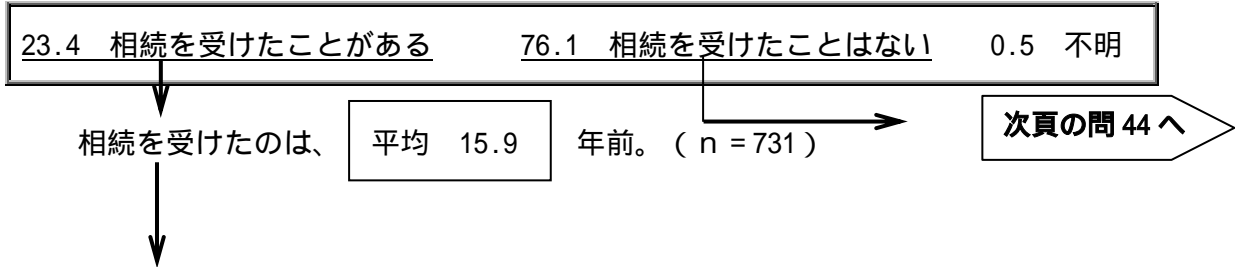
**すべての世帯におたずねします。**

問 39 世帯主あるいは配偶者の方は、確定拠出年金(企業型、個人型)に加入されていますか。  
( は1つ )

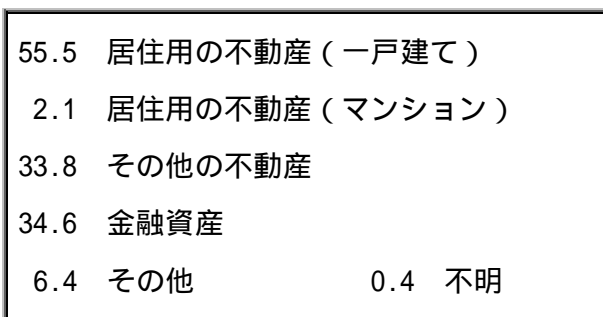
世帯主の方 ( n = 3,127 )	配偶者の方 ( n = 3,127 )
23.0 確定拠出年金(企業型)	9.1 確定拠出年金(企業型)
10.5 確定拠出年金(個人型)	11.5 確定拠出年金(個人型)
61.0 どちらにも加入していない	56.5 どちらにも加入していない
5.5 不明	13.4 配偶者はいない      9.5 不明

ここでは、世帯主および配偶者の方（単身の方はあなたご自身）の遺産に対する考え方などについて、すべての世帯におたずねします。なお、「遺産の相続」には「生前贈与」を含めてお答えください。

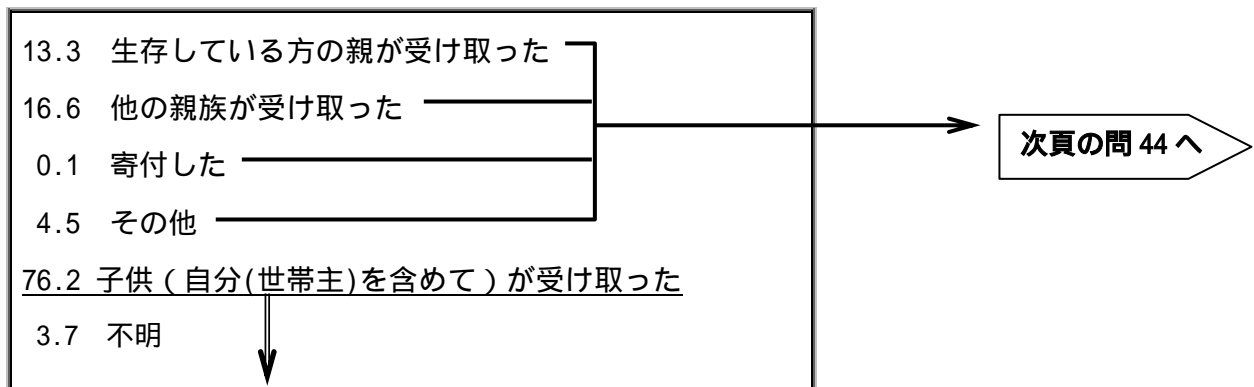
問 40 あなたの世帯では、世帯主の方はご両親からの遺産の相続を受けたことがありますか。相続を受けたことがある場合、それは今から何年前のことですか。（は1つ、には数字をご記入ください。） (n = 3,127)



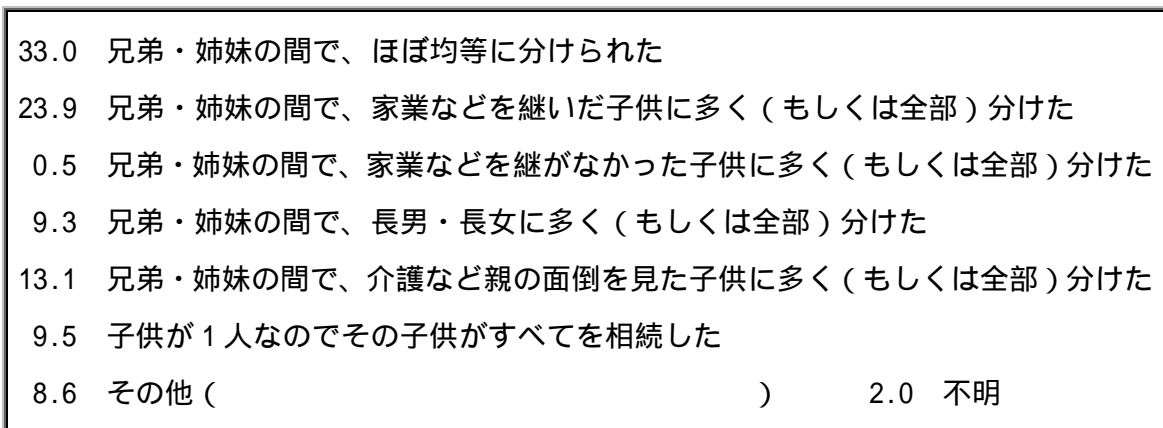
問 41 それはどのような種類の資産ですか。（はいくつでも）(n = 731)



問 42 その遺産は、世帯主の方のほかに、どなたが受け取りましたか。（はいくつでも）(n = 731)



問 43 その遺産は、どのように分けられましたか。（は1つ）(n = 557)





**すべての世帯におたずねします。**

問 44 あなたの世帯では、将来、世帯主や配偶者のご両親などから不動産や金融資産などの遺産相続を受けることがありますか。(〇はいくつでも) (n = 3,127)

17.1	自分(世帯主)の親からある	60.5	ないと思う
8.0	配偶者の親からある	17.7	わからない
0.5	その他の親族などからある	0.6	不明

問 下  
46 記  
への

問 45 相続を受けるとされる遺産はどのような種類ですか。(はいくつでも) (n = 677)

世帯主の方		配偶者の方	
60.7	居住用の不動産(土地・建物)	18.5	居住用の不動産(土地・建物)
21.3	その他の不動産(土地・建物)	10.2	その他の不動産(土地・建物)
29.8	金融資産	20.2	金融資産
2.8	その他(貴金属・書画・骨董など)	3.8	その他(貴金属・書画・骨董など)
( )	( )	( )	( )
22.0	不明	61.6	不明

問 46 あなたにはお子さまがいらっしゃいますか。(n = 3,127)  
(生計をともにしているかどうか、同居しているかどうかに関係なくお答えください。)

86.5	いる	13.4	いない	0.1	不明
------	----	------	-----	-----	----

下記の間 48 へ

問 47 お子さまの年齢、性別、及び就業の有無をお知らせください。  
(年齢には に数字を、性別及び就業の有無については、該当する数字に をつけてください。)  
(お子さまが5人以上いらっしゃるお宅は、年長の4人の方についてご記入ください。)  
(n = 2,705)

	年 齢	性 別	就業の有無
1	平均 27.2 歳	52.3 男	54.5 就業
		45.5 女 2.2 不明	41.7 非就業 3.8 不明
2	平均 25.4 歳	36.5 男	38.0 就業
		38.6 女 25.0 不明	35.9 非就業 26.1 不明
3	平均 22.7 歳	11.5 男	10.2 就業
		11.3 女 77.2 不明	12.3 非就業 77.5 不明
4	平均 22.0 歳	1.1 男	1.0 就業
		1.4 女 97.5 不明	1.7 非就業 97.4 不明

次頁の間 49 へ

問 48 あなたの世帯では資産をどのようにしたいとお考えですか。(は1つ) (n = 418)

47.1	資産は使い切る	45.0	資産は親族に残す	3.1	資産は寄付する	4.8	不明
------	---------	------	----------	-----	---------	-----	----

19 頁の間 54 へ

**お子さんのいらっしゃる方におたずねします。**

問 49 あなたの世帯では、世帯主及び配偶者の方は自分たちの子供に遺産を残したいとお考えですか。( は1つ) ( n = 2,705 )

63.7	子供に遺産を残したい	35.3	子供に遺産は残さない	1.0	不明
------	------------	------	------------	-----	----

問下  
53 記  
への

問 50 子供に遺産を残す場合の考え方についてお答えください。( は1つ) ( n = 1,722 )

43.7	均等に分ける
15.2	同居して介護など面倒をみてくれた子供に多く、もしくは全部残す
13.2	別居でも介護など面倒をみてくれた子供に多く、もしくは全部残す
2.5	事業などを継いだ子供に多く、もしくは全部残す
-	事業などを継がなかった子供に多く、もしくは全部残す
1.2	所得の低い子供に多く、もしくは全部残す
4.2	自分の面倒を見てくれなくても、長男・長女に多く、もしくは全部残す
16.4	子供が1人なのでその子供に全部残す
3.0	その他( )
0.6	不明

問 51 あなたの世帯では、どのような資産を子供に残したいとお考えですか。( はいくつでも) ( n = 1,722 )

37.7	相続・贈与を受けた不動産	51.5	みずから取得した金融資産
54.0	みずから取得した不動産	5.9	相続・贈与を受けたその他の資産
7.3	相続・贈与を受けた金融資産	17.0	みずから取得したその他の資産
		1.7	不明

問 52 子供に残したいとお考えの資産は、合計でどのくらいの金額ですか。また、そのうち不動産(居住用およびその他の不動産)は全体の何割ですか。( 内に数字をご記入ください)

( n = 1,722 )

合計: **平均 5,653.5** 万円

次頁の問 54 へ

そのうち不動産(居住用およびその他の不動産)は **平均 9.0** 割程度

問 53 子供に遺産は残さないとお考えになる理由をお教えてください。( は1つ)

( n = 956 )

15.8	自分の資産は生きていうちに自分で使いたいから
0.3	遺産は子供以外の親族に残したいから
0.5	遺産は寄付などに使用したいから
77.7	遺産を残すだけの余裕はないと思うから
3.8	その他( )
1.9	不明

**最後にあなたの世帯の構成などについて、すべての世帯におたずねします。**

問 54 現在、あなたの世帯では、世帯主の方を含めて何人いらっしゃいますか。  
 (人数を にご記入ください) (n = 3,127)

平均 3.1 人 生計をともにするご家族の方 (別居されている方は除きます)

問 55 その方々は世帯主の方からみると次のどの続柄に該当しますか。  
 該当する方にすべて をつけて、 に人数もご記入ください。 (n = 3,127)

81.5	配偶者	13.4	親、配偶者の親	平均 1.3	人		
59.9	子供	平均 1.7	人	2.2	その他	平均 1.2	人
3.6	子供の配偶者	平均 1.0	人	8.7	いない (世帯主のみ)		
4.7	孫	平均 1.8	人	0.7	不明		

問 56 あなたには、生計をともにしている別居中のご家族がいらっしゃいますか。 ( は一つ )  
 (n = 3,127)

12.2	いる	87.1	いない	0.6	不明
------	----	------	-----	-----	----

↓  
下記の問 58 へ

**問 56 で別居中のご家族が「いる」とお答えになった方にうかがいます。**

問 57 その方は、あなたからみると、どの続柄に該当しますか。 ( はいくつでも )  
 (n = 383)

5.2	配偶者
75.5	子供
9.9	子供の配偶者
12.0	孫
20.4	親、配偶者の親
1.6	その他 ( ) - 不明

**すべての世帯におたずねします。**

問 58 あなた (世帯主) の性別をお知らせください。 ( は一つ ) (n = 3,127)

87.8	男性	12.2	女性	-	不明
------	----	------	----	---	----

**ここでは、世帯主と配偶者の方についておたずねします。**

(生計をともにしている配偶者がいない場合は、配偶者の欄にお答えいただく必要はありません)

問 59 現在の満年齢をお知らせください。(にご記入ください)

世帯主 満 平均 55.4 歳 (n = 3,127)      配偶者 満 平均 52.6 歳 (n = 2,548)

問 60 あなた(世帯主)と配偶者の方のそれぞれの職業をお知らせください。複数のお仕事をお持ちの方は、主なものを1つ選んでください。(はそれぞれ1つ)

	世帯主 (n = 3,127)	配偶者 (n = 2,548)
民間企業に勤務(常勤)	37.3	8.5
官公庁に勤務(常勤)	6.5	1.4
その他団体に勤務(常勤)	3.1	1.6
農林漁業に従事	2.0	2.0
個人経営・自営業	16.1	6.3
パート・アルバイトに従事	5.5	22.6
その他(家族従業者 等)	0.7	5.1
以前は働いていたが、現在は働いていない (現在求職中)	4.3	6.8
以前は働いていたが、現在は働いていない (現在求職中ではない)	22.5	35.4
働いた経験は無い	1.3	7.7
不明	0.7	2.6

問 下  
61 記  
への

問 次  
63 頁  
への

**問 60 で「1」～「7」に をつけた方におたずねします。**

問 61 何歳まで働き続けたいと考えていらっしゃいますか。(内に数字をご記入ください)

世帯主(n = 2,226)      配偶者(n = 1,212)

平均 65.9 歳まで

平均 62.4 歳まで

**問 60 で「1」に をつけた方(民間企業に勤務の方)におたずねします。**

問 62 お勤めの企業(官公庁を除く)の総従業員数をお知らせ下さい。(はそれぞれ一つ)

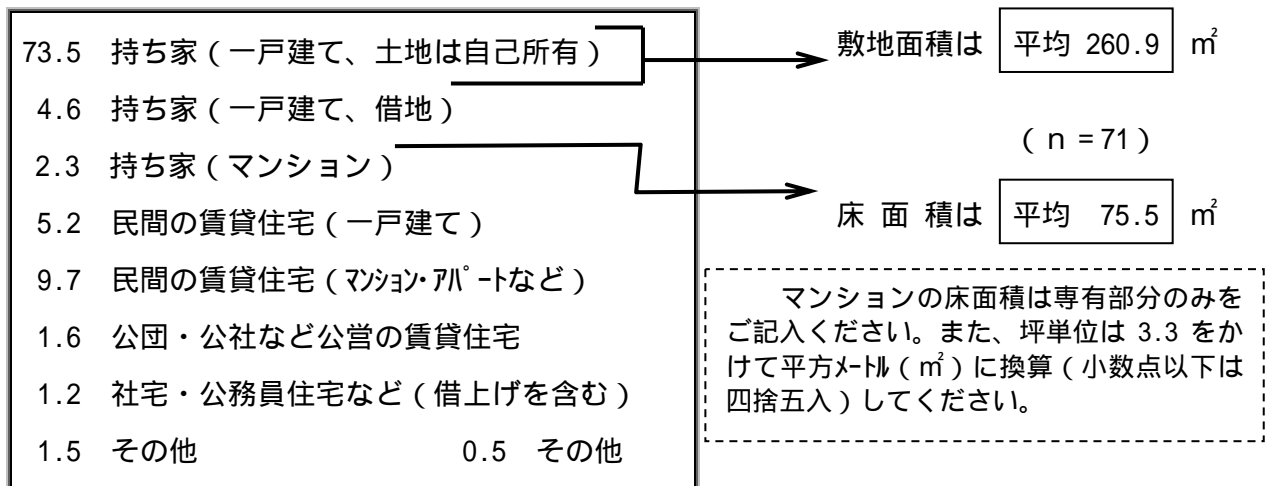
	世帯主 (n = 1,116)	配偶者 (n = 217)
1～ 4人	4.7	6.9
5～ 29人	21.7	27.2
30～ 499人	37.2	43.3
500～ 999人	11.0	4.6
1,000人以上	22.2	15.2
不 明	3.2	2.8

**すべての世帯におたずねします。**

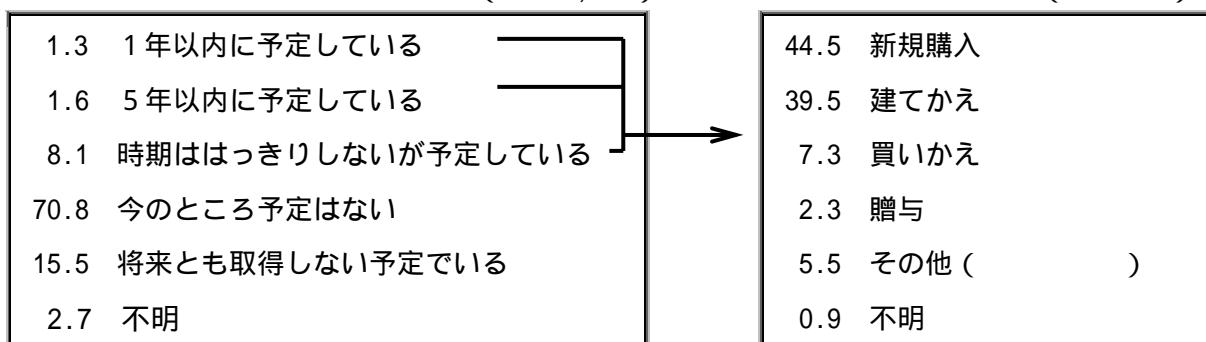
問 63 世帯主の方と配偶者の方が**最後に卒業された学校**をお知らせください。在学中の方は、現在在学されている学校をお知らせください。あてはまるものを1つ選んでください。  
(それぞれ は1つ)

	世帯主 (n = 3,127)	配偶者 (n = 2,548)
小中学校 卒業 (尋常小学校、高等小学校を含む)	14.6	13.1
高等学校 中退 (旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む)	5.8	5.1
高等学校 卒業 (卒業見込みを含む)	43.8	52.5
短期大学 中退 (高専等を含む)	0.8	1.4
短期大学 卒業 (高専等を含む) (卒業見込みを含む)	5.9	17.5
大学 中退 (旧制高校、旧制高等専門学校を含む)	1.5	0.5
大学 卒業 (旧制高校、旧制高等専門学校を含む) (卒業見込みを含む)	24.8	8.4
大学院修士課程 中退	0.1	-
大学院修士課程 修了 (卒業見込みを含む)	1.4	0.2
大学院博士課程 中退	0.1	-
大学院博士課程 修了 (卒業見込みを含む)	0.4	0.1
不 明	0.9	0.3

問 64 あなたの世帯は、現在どのような住居にお住まいですか。持ち家の方はおよその面積をお知らせください。( は1つ) (n = 3,127) (n = 2,442)



問65 あなたの世帯では、ご自宅の取得(建てかえ、買いかえなどを含む)等のご予定はありますか。予定がある場合には、取得の仕方についてもお答えください。( はそれぞれ1つ) (n = 3,127) (n = 344)



問 66 昨年 1 年間のあなたの世帯のおおよその収入（税込み）を種類別にお答えください。各収入には生計を共にする方全員の収入も合算してください。（ に数字をご記入ください。）

収入の種類	昨年 1 年間の税込み金額 ( n = 3,127 )
給与収入	平均 587.3 万円
事業収入	平均 258.5 万円
家賃、利子など資産の収入	平均 119.3 万円
公的年金	平均 190.6 万円
個人年金・企業年金	平均 61.1 万円
仕送り金	平均 14.1 万円
その他	平均 46.8 万円
合 計	平均 621.5 万円

問 67 あなたの世帯の 1 か月の生活費はどの位ですか。（ に数字をご記入ください。）  
( n = 3,127 )

月額  万円

生活費には次のものを含みます。

食費、光熱費、住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教養娯楽・交際費

本調査のご回答をいただく項目は以上で終わりです。

お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。